

◆ クリ新品种「ぽろたん」の産地拡大の阻害要因である凍害発生抑制技術の開発 (2011～2013年度)

共同研究機関: 兵庫県立農林水産技術総合センター(中核機関)、岐阜県中山間農業研究所、(独)農研機構果樹研究所、
(独)農研機構近畿中国四国農業研究センター、兵庫県丹波県民局丹波農業改良普及センター、
岐阜県農政部農業技術課、岐阜県農政部恵那農林事務所

研究概要: (独)果樹研究所が育成した渋皮剥皮性に優れたクリ新品种「ぽろたん」は、生産者や消費者、加工業者の期待が大きく、全国で果樹としては異例の速さで導入が進んでいる。しかし、凍害による枯死事例が頻発し、早急な対策が求められている。本研究では、種々の園地の凍害危険度を判定し、気象、園地条件に対応した効率的な凍害発生抑制技術を開発する。



課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター
農産園芸部 水田泰徳

初めての提案でしたが、課題の内容、構成から、提案書の書き方、プレゼンの表現方法など細かいところまで丁寧なご指導をいただきました。特に、果樹関係者だけで課題化を進めたので、他の専門の方や一般の方にもわかりやすいような用語や言葉遣い、説明の工夫(図示の方法)など、一歩、二歩外側の視点からのアドバイスは新鮮で、視野が広まるとともに、多くの人に研究を理解し、評価していただくことにつながったと思います。